

第14回職場活動家交流集会

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

仲間を大切に総団結で

6月11日、大洗町において第14回職場活動家交流集会を開催した。JESS-Uからの報告、分散会交流を開催した。

埴副委員長の司会で開会し、塚原委員長から昨年の交流集会から言えることは仕事を中心に若手を含めて働かされ方、気持ち、苦労を集約し要求を統一する。議論よりも実行を。国労に入れを合言葉に一人でも多くの加入をと挨拶した。来賓から東本



部伊藤執行委員。元書記の福地さんから、今までの経験で機関運動を大事に議論や悩みを出し合うことです。仲間を大事にすること。それを見て若い仲間も共感することで組織

つなげよう
技術者の
魂 (soul)と
運動を

拡大にと報告した。共闘からJESS-Uの池田委員長から賃金制度に対して何も言えない。交渉には組合が必要と組合を発足。拡大にむけて職場オールドも行っている。



白濱執行委員からJR出向者との差別がある。若手社員の悩み、プロパー社員の苦労を聞いた。
①生活出来る、家族が養える給料が欲しい。
子会社であれば給与を削減できる。将来に不安、今後の生活に不安がある。

②職務乗車証、購入券。業務・研修などは先払いで後で申請する。枚数と利用者の制限がある。
③福利厚生に差別。社宅、家賃の補助がない。カフェテリアプランが欲しい。

最後に、若手が声をあげないと、これから30年、40



伊藤執行委員から

第31回定期大会に向けての集中心、夏季手当・エルダー制度、扶養手当について報告した。JR貨物の満額回答への要求。協約改訂の交渉や、エ

年働く。お偉いさんは5年くらいで居なくなる。我々が会社を変えていかないとならないと報告した。水戸のJESS、河野さんから輸送業務、車掌からエルダーになり、駅業務、一人勤務が増えている。

未経験者の不安解消の交流会、職場回りでアンケートから問題点を吸いあげてきた。数年でエルダーと本体が逆転する総団結が必要。若手プロパーはJRとの格差があると皆が思っている。

現在、36代表選挙が行われている。今年は勝利したいと報告した。

エルダー制度の問題は順調に進んでいない実態にある。65才定年制への要求へ。組織拡大について他の地本の状況について報告した。(前日の分会代表者会議より)